

浦添 20年ぶり栄冠

県中学新人ハンド 女子神森3連覇



男子で20年ぶりの優勝を決めた浦添
11日、浦添市民体育館



女子3連覇となった神森

ハンドボールの第7回浦添市長杯争奪第38回県中学校新人大会最終日は15日、浦添市民体育館で行われ、男子決勝は浦添が美東に28

26で競り勝ち、20年ぶり5度目の優勝。女子は神森が仲西に17-13で勝利し、3年連続10度目の頂点に立った。男女優勝校は第6回春の全国中学生選手権(3月、富山)への出場権を獲得した。

【男子】
▽3位決定戦

具志川 27 | 15 | 8 | 20 真志喜

▽決勝

浦添 28 | 14 | 12 | 26 美東

【女子】
▽3位決定戦

美東 20 | 10 | 10 | 5 | 13 宮里

▽決勝

神森 17 | 5 | 7 | 13 仲西

▽優秀選手男子 宮國央芽、下地利輝、瑞慶山良和(以上浦添)、平良圭、我如古龍生(以上美東)、玉城一樹(具志川)、知花彰訓(真志喜)

▽同女子 新垣麗奈、翁長鈴、高良怜未(以上神森、安里) / 浦崎春菜(以上仲西)、榊里菜梨乃(美東、與那嶺涼乃(宮里))

「大きな自信に」
浦添、目標一層高く

○：浦添はこの大会で実に20年ぶりの優勝。これまでは近年の優勝常連校に氣迫で押されることが多かったというが、東江功子監督は「最初は緊張していたが、途中からスピードを生かしてよく頑張った。大きな自信になる」と振り返った。

エースの下地利輝は「最初はガチガチだったけど、みんなで声を掛け合って盛り上げたのが良かった。自分もシュートが決まりだし、だから楽になった」と話す。前半に5得点、後半には9得点の活躍でチームを

引っ張った。

主将の宮國央芽は「課題がまだたくさんある」とさらに高い目標を掲げ、一全国で優勝できるチームにしたい」と話した。

狙う全国制覇

神森、ライバル撃破

○：新チーム発足後の八重瀬町長杯、地区大会といずれも決勝で仲西に敗れていた神森は、GK新垣麗奈を守りの要に、横一線の防御がはまり、ライバルを破って連覇回数を伸ばした。

スピードのある仲西の攻撃を横と縦に激しく動く守りで封じた。前半にダブルスコアの6点差をつけて優位に立つと、相手の変則的なマークにも慌てず対応。翁長誠光コーチは「やってきたことが出せた」と満足げだった。

出場権をつかんだ春の全国選手権では二つ上の先輩たちが優勝を果たしている。主将の高良怜未は「全国では今の力では足りない。さらに練習を重ねて優勝したい」と2年ぶりの全国制覇を狙う。